

平成三十九年度

# 推薦入試試験問題

(文学科 日本語日本文学専攻)

## 注意事項

- 1 解答は、すべて解答用紙に縦書きで記入してください。
- 2 白紙は、下書きとして使用してください。
- 3 受験票とこの問題用紙および白紙は持ち帰ってください。

課題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【省略】

【省略】

(田中ゆかり「ザ・男弁」から「モテ弁」へ?)

『考える人』二〇一五年夏号、新潮社、206～207ページより)

注1 プレスステージ……社会的な高い価値付け。

注2 『まんだら屋の良太』……九州の温泉宿の高校生を主人公とする、小倉弁(北九州市小倉方言)が用いられた作品。

注3 ペーソス……もの悲しさ。哀愁。

問一 ――線部で、「モテ系ちゃらキャラの登場」が「方言プレスステージの時代の象徴」と言えるのはなぜか、二〇〇字以内でわかりやすく説明しなさい。

問二 今後、方言を含む地域の言語文化とどのように向き合っていくべきだと考えるか、身近な例を含めて、六〇〇字以内で論じなさい。